

和歌山市
子ども・子育て支援事業に関する
ニーズ調査結果報告書
【概要版】

令和6年6月
和歌山市

I ニーズ調査の概要

1 調査の目的

第三期和歌山市子ども・子育て支援事業計画※の策定にあたり、和歌山市民の子育ての状況や、幼児教育・保育・地域の子育て支援事業の利用希望などを把握し、計画策定の基礎資料とすることで、よりよい子育て施策の推進につなげていくことを目的として実施しました。

2 調査概要

和歌山市内に居住する就学前児童の保護者（就学前保護者）2,500人、小学生児童の保護者（小学生保護者）1,500人、小学生・中学生・高校生1,112人を対象として行いました。

3 調査の方法と回収状況

就学前保護者、小学生保護者については、住民基本台帳から無作為抽出で対象者を選定し、郵送による調査依頼（ハガキ）を配布し、インターネットを通してアンケートを行いました。

小学生・中学生・高校生については、市立の小学校・中学校・高校の協力を得て、人数等のバランスを考慮して、クラス単位での配付・回収を行いました。

■調査期間

- ・就学前保護者、小学生保護者：[1回目]令和6年3月27日から4月16日まで
[2回目]令和6年5月17日から5月31日まで
- ・小学生・中学生・高校生：令和6年3月18日から3月22日まで

■配布数・回収数・回収率

	配布数	有効回収数	有効回収率
就学前保護者	2,500件	1,030件	41.2%
小学生保護者	1,500件	697件	46.5%
小学生・中学生・高校生	1,112件	911件	81.9%

※ 第三期和歌山市子ども・子育て支援事業計画：調査実施後、本計画名を「和歌山市こども計画」とすることに決定。

4 表記方法について

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式の質問であっても、表記のパーセント値の合計が100.0ちょうどにならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表のいずれにおいても同様です。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の場合、集計対象者の総数に対する、選択肢ごとの回答者数の割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難だったものです。
- 図表中の「N (number of case)」は、集計対象者数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文・図表中の設問の選択肢は簡略化した表記にしている場合があります。

「子供」「子ども」「こども」の表記：報告書では以下により表記することとします。

- 1 一般的に使用する場合、原則「子供」と表記。（調査実施段階の表記に統一）
- 2 「子ども・子育て支援法」や「認定こども園」など、法律等で表記が規定されている場合、規定に基づき表記。

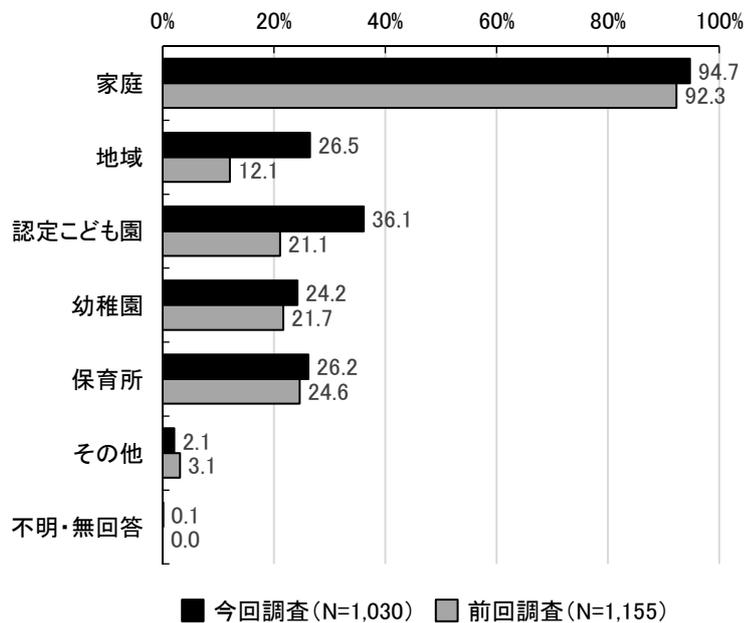
Ⅱ 就学前児童保護者・小学生保護者ニーズ調査結果

Ⅰ 子供の育ちをめぐる環境について

就学前 問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は次のうちどれですか。（選択はいくつでも）

就学前保護者の子育てに、もっとも影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が94.7%と最も高く、次いで「認定こども園」が36.1%、「地域」が26.5%となっています。

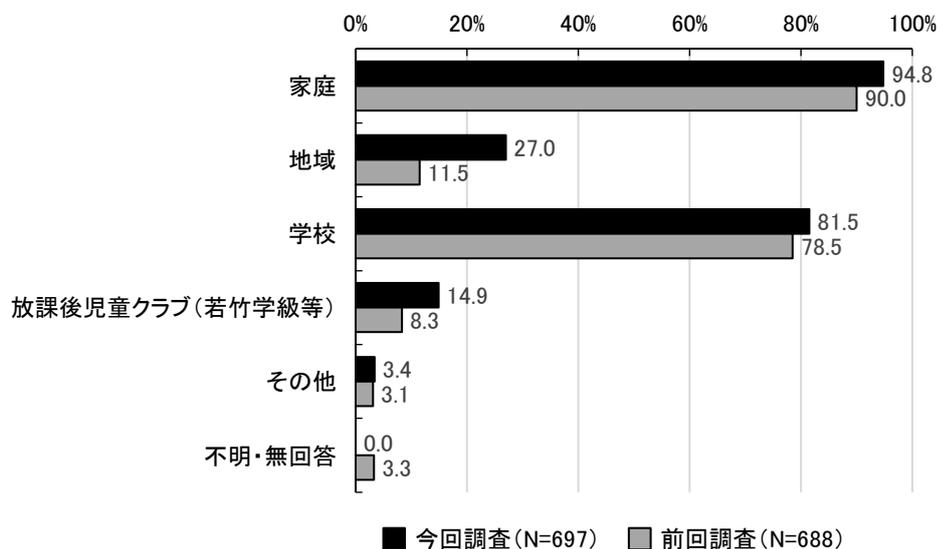
前回調査と比較して、「認定こども園」では15.0ポイント、「地域」では14.4ポイント高くなっています。



小学生 問6 あて名のお子さんの子育て（教育を含む）に、もっとも影響すると思われる環境は次のうちどれですか。（選択はいくつでも）

小学生保護者のお子さんの子育てにもっとも影響すると思われる環境についてみると、「家庭」が94.8%と最も高く、次いで「学校」が81.5%、「地域」が27.0%となっています。

前回調査と比較して、「地域」では15.5ポイント、「放課後児童クラブ（若竹学級等）」では6.6ポイント高くなっています。



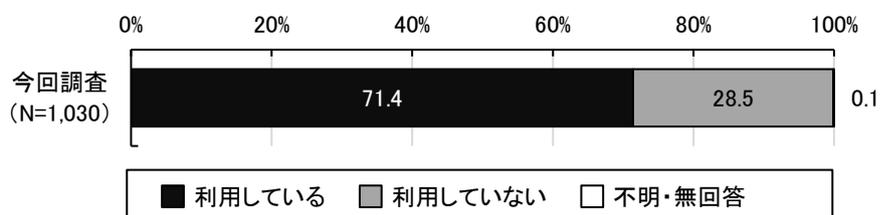
子育てや教育に影響すると思われる環境として、「家庭」が最も高くなっており、これは前回調査時点とほぼ同水準となっています。一方、就学前保護者、小学生保護者共に「地域」の割合が高くなっています。

「地域」と答えた方について、各設問についてのクロス集計をみたところ、特に回答に優位性のある結果はみられませんでした。

2 お子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況について

就学前 問10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用されていますか。(選択は1つ)

幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」の利用状況についてみると、今回調査では「利用している」が71.4%、「利用していない」が28.5%となっています。

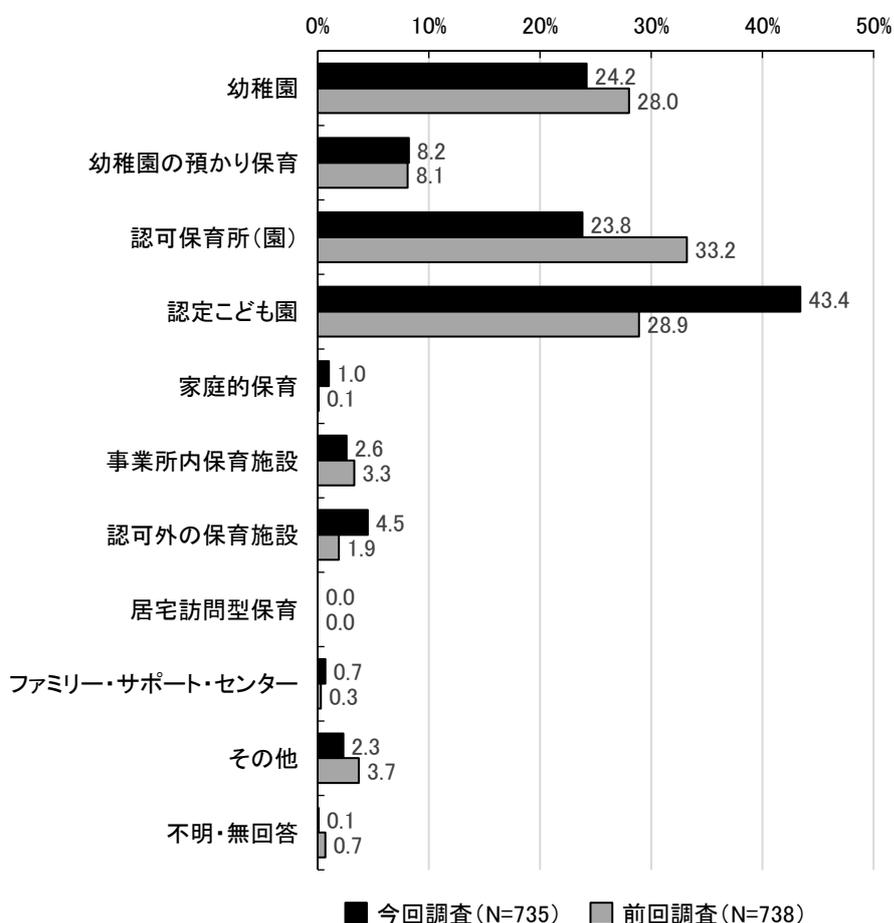


問10で「利用している」を選択された方

就学前 問10-1 あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて「定期的」に利用している事業をお答えください。(選択はいくつでも)

平日、定期的にご利用している教育・保育事業についてみると、「認定こども園（幼稚園と保育施設の機能を併せ持つ施設）」が43.4%と最も高く、次いで「幼稚園（通常の就園時間の利用）」が24.2%、「認可保育所（園）（国が定める最低基準に適合した施設で都道府県等の認可を受けたもの）」が23.8%となっています。

前回調査と比較して、「認定こども園」では14.5ポイント高く、一方で「認可保育所（園）」では9.4ポイント低くなっています。

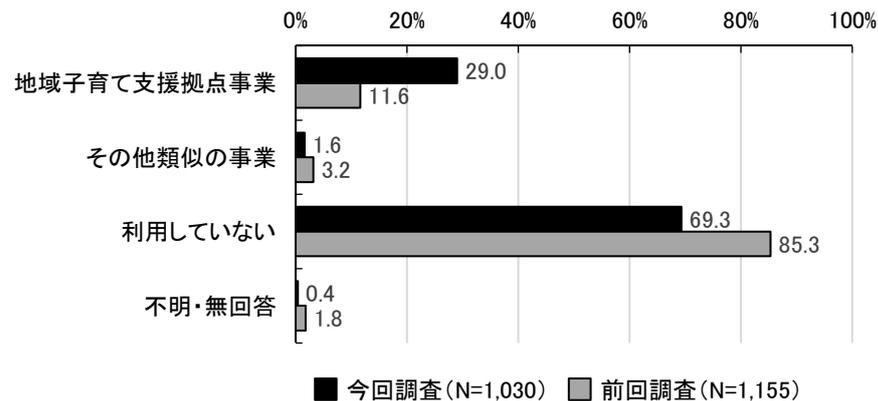


3 お子さんの地域子育て支援事業の利用状況について

就学前 問14 あて名のお子さんは、地域子育て支援拠点事業を利用していますか。もしくは利用したことがありますか。(選択はいくつでも)

地域子育て支援拠点事業の利用状況についてみると、「利用していない」が69.3%と最も高く、次いで「地域子育て支援拠点事業」が29.0%、「その他類似の事業」が1.6%となっています。

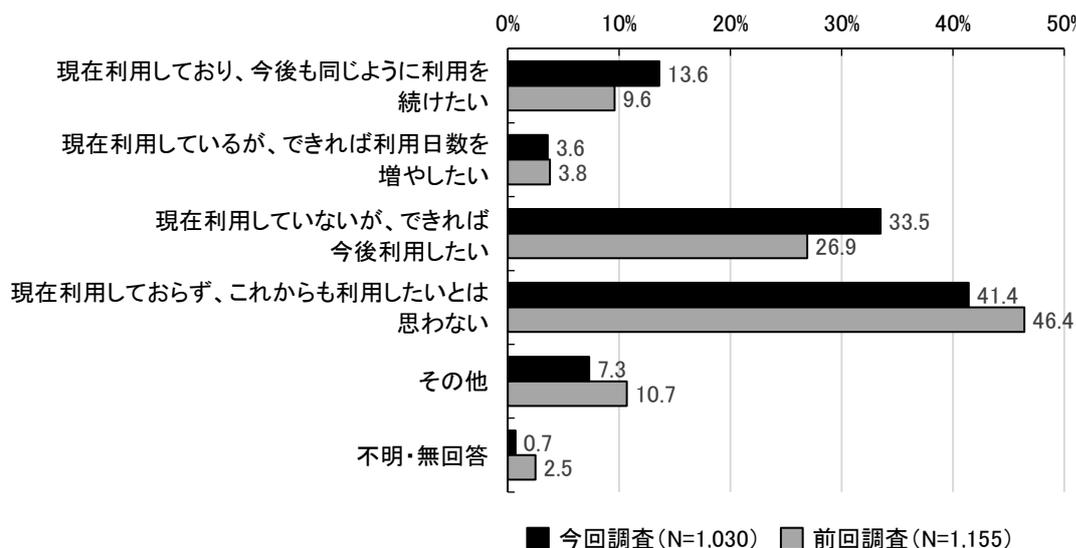
前回調査と比較して、「地域子育て支援拠点事業」では17.4ポイント高く、一方で「利用していない」では16.0ポイント低くなっています。



就学前 問15 地域子育て支援拠点事業について、今後、利用したいと思いますか。

地域子育て支援拠点事業の利用意向についてみると、「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」が41.4%と最も高く、次いで「現在利用していないが、できれば今後利用したい」が33.5%、「現在利用しており、今後も同じように利用を続けたい」が13.6%となっています。

前回調査と比較して、「現在利用していないが、できれば今後利用したい」では6.6ポイント高く、一方で「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」では5.0ポイント低くなっています。



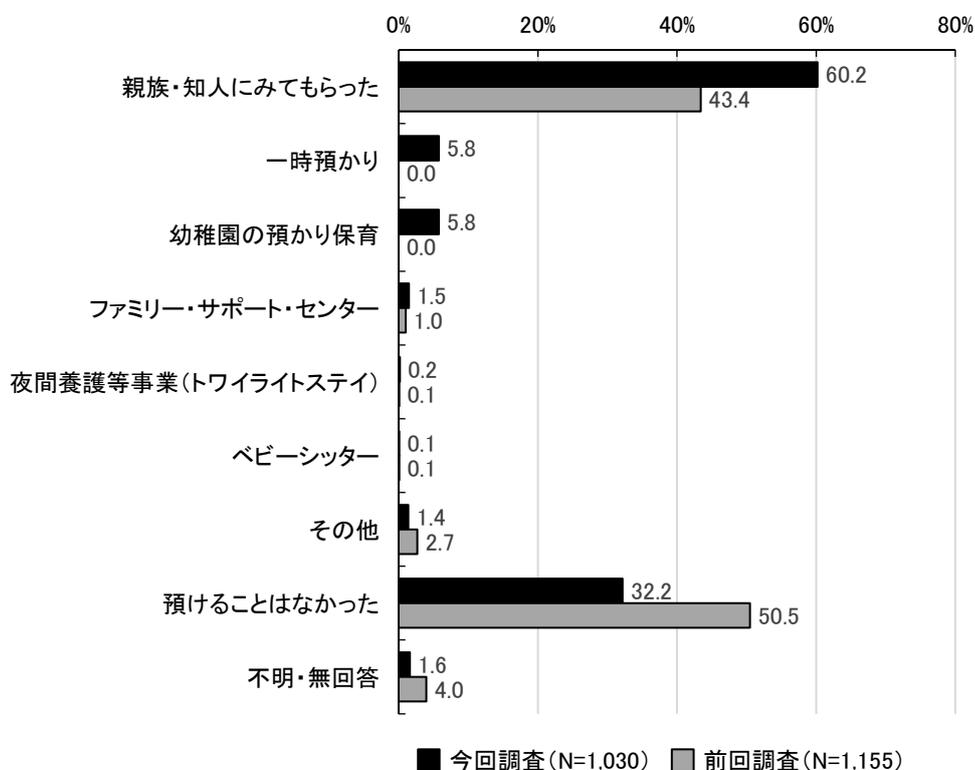
地域子育て支援拠点事業は未就園児対象ですが、「現在利用しておらず、これからも利用したいとは思わない」と回答した8割を超える人が就園児保護者、約2割が未就園児保護者です。約7割の未就園児保護者が、当事業を利用している又は利用を希望しています。

4 お子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

就学前 問21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業はありますか。（選択はいくつでも）

私用、親の通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業についてみると、「親族・知人にみてもらった」が60.2%と最も高く、次いで「預けることはなかった」が32.2%、「一時預かり」「幼稚園の預かり保育」がともに5.8%となっています。

前回調査と比較して、「親族・知人にみてもらった」では16.8ポイント高く、一方で「預けることはなかった」では18.3ポイント低くなっています。

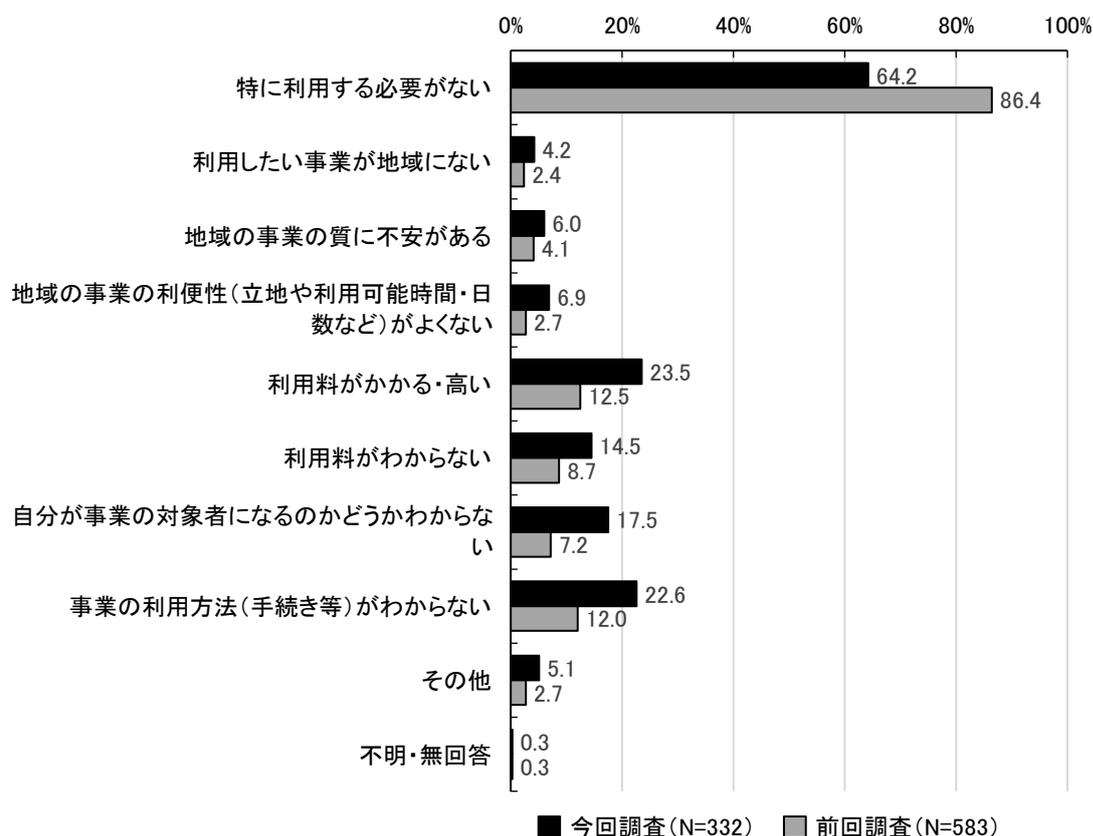


問 21 で「預けることはなかった」を選択された方

就学前 問 21-1 一時預かり等を利用しなかった理由は何ですか。(選択はいくつでも)

一時預かり等を利用しなかった理由についてみると、「特に利用する必要がない」が 64.2%と最も高く、次いで「利用料がかかる・高い」が 23.5%、「事業の利用方法（手続き等）がわからない」が 22.6%となっています。

前回調査と比較して、「利用料がかかる・高い」では 11.0 ポイント高く、一方で「特に利用する必要がない」では 22.2 ポイント低くなっています。



一時預かり等の利用状況について、「預けることがなかった」の割合が減少していますが、その理由として、「特に利用する必要がない」の割合が減少している一方、「利用料がかかる・高い」といった経済的な理由が伸びています。

また、「利用料がわからない」「自分が事業の対象者になるのかどうかわからない」「事業の利用方法（手続き等）がわからない」等の制度に関することがわからないという理由もまた伸びています。

5 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

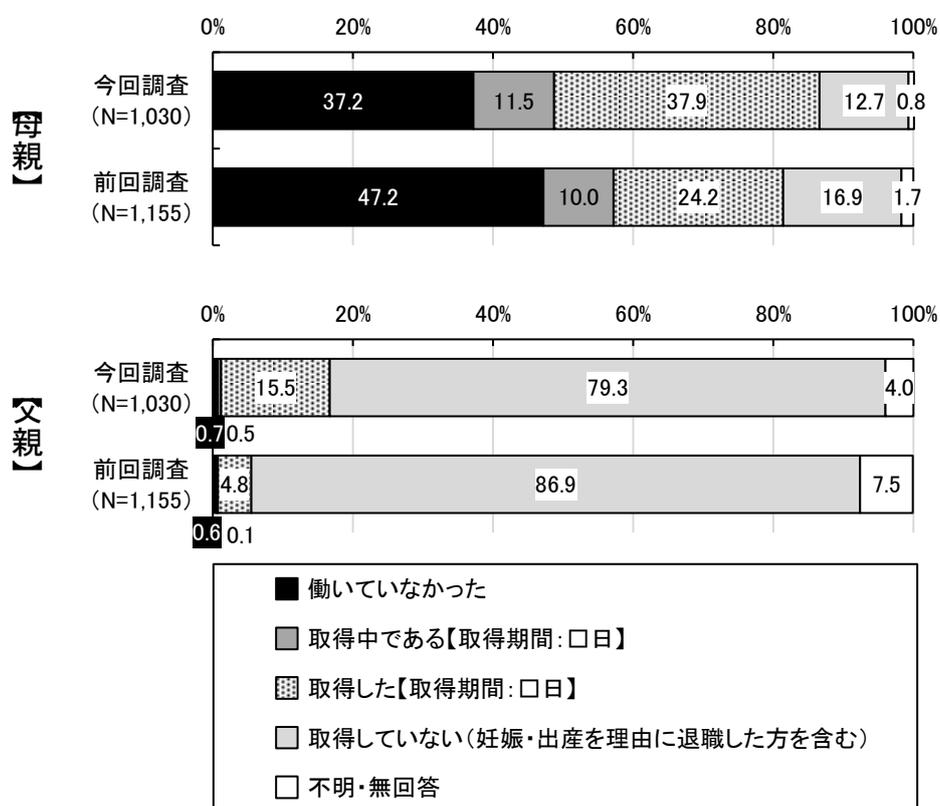
就学前 問26 あて名のお子さんが生まれた時、父母のいずれか、もしくは双方が育児休業を取得しましたか。(選択は1つ)

育児休業を取得状況についてみると、母親では「取得した【取得期間：□日】」が37.9%と最も高く、次いで「働いていなかった」が37.2%、「取得していない(妊娠・出産を理由に退職した方を含む)」が12.7%となっています。

父親では「取得していない(妊娠・出産を理由に退職した方を含む)」が79.3%と最も高く、次いで「取得した【取得期間：□日】」が15.5%、「働いていなかった」が0.7%となっています。

前回調査と比較して、母親では「取得した【取得期間：□日】」では13.7ポイント高く、一方で「働いていなかった」では10.0ポイント低くなっています。

父親では「取得した【取得期間：□日】」では10.7ポイント高く、一方で「取得していない(妊娠・出産を理由に退職した方を含む)」では7.6ポイント低くなっています。



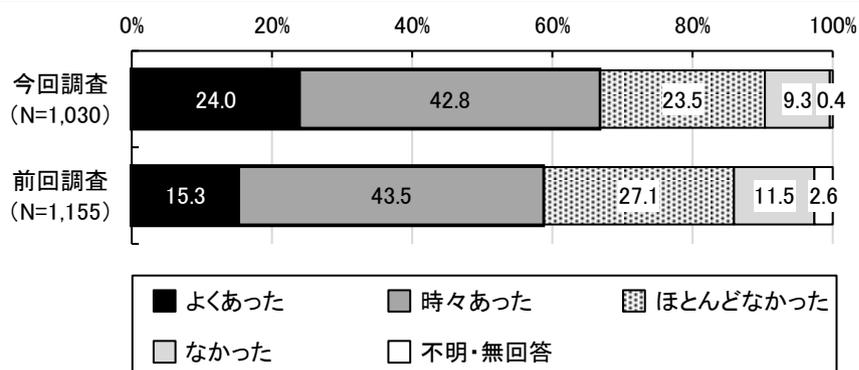
問26の調査結果から、母親の「働いていなかった」の割合は減少しており、共働き家庭が増えていることがうかがえます。また、母親、父親ともに「(育児休業を)取得した」の割合が高くなっていることから、育児休業の取得が進んでいることがわかります。

6 妊娠中や出産、子育ての不安と悩みについて

就学前 問 27 妊娠中、あるいは出産後、母親が精神的に不安定になったことはありますか。(選択は1つ)

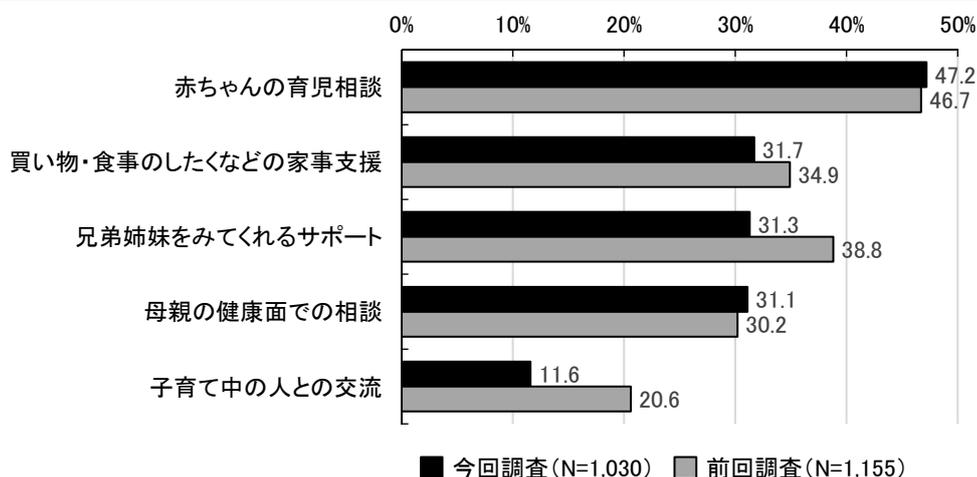
妊娠中、あるいは出産後、母親が精神的に不安定になった経験についてみると、「時々あった」が42.8%と最も高く、次いで「よくあった」が24.0%、「ほとんどなかった」が23.5%となっています。

前回調査と比較して、「よくあった」では8.7ポイント高く、一方で「ほとんどなかった」では3.6ポイント低くなっています。



就学前 問 28 妊娠中や出産後のサポートとして、特にどのようなサービスが必要だと思いますか。(選択は2つまで)

妊娠中や出産後のサポートとして、特に必要だと思うサービスについてみると、「赤ちゃんの育児相談」が47.2%と最も高く、次いで「買い物・食事のしたくなどの家事支援」が31.7%、「兄弟姉妹をみてくれるサポート」が31.3%となっています。



※今回調査における上位5項目表示

妊娠中、あるいは出産後に精神的に不安定になった経験については、前回調査と比較して、「よくあった」の割合が高くなっています。

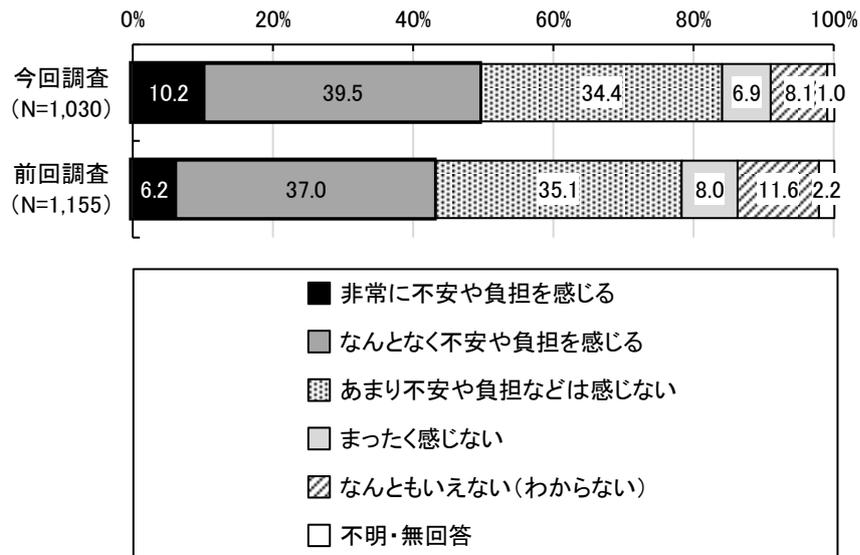
具体的なサポートとしては、前回調査と概ね同様の傾向となっており、特に「赤ちゃんの育児相談」「買い物・食事のしたくなどの家事支援」「兄弟姉妹をみてくれるサポート」「母親の健康面での相談」において3割以上となっています。

7 子供の健全な育成について

就学前 問 29 子育てに関して不安感や負担感等を感じていますか。(選択は1つ)

就学前保護者の子育てに関して不安感や負担感等を感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が39.5%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が34.4%、「非常に不安や負担を感じる」が10.2%となっています。

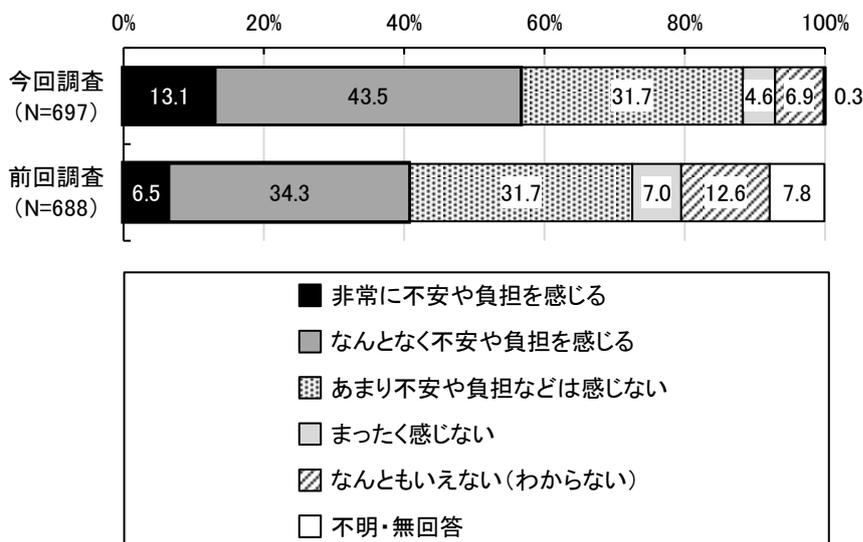
前回調査と比較して、「非常に不安や負担を感じる」では4.0ポイント高く、一方で「なんともいえない(わからない)」では3.5ポイント低くなっています。



小学生 問 19 子育てに関して不安感や負担感等を感じていますか。(選択は1つ)

小学生保護者の子育てに関して不安感や負担感等を感じているかについてみると、「なんとなく不安や負担を感じる」が43.5%と最も高く、次いで「あまり不安や負担などは感じない」が31.7%、「非常に不安や負担を感じる」が13.1%となっています。

前回調査と比較して、「なんとなく不安や負担を感じる」では9.2ポイント高く、一方で「なんともいえない(わからない)」では5.7ポイント低くなっています。



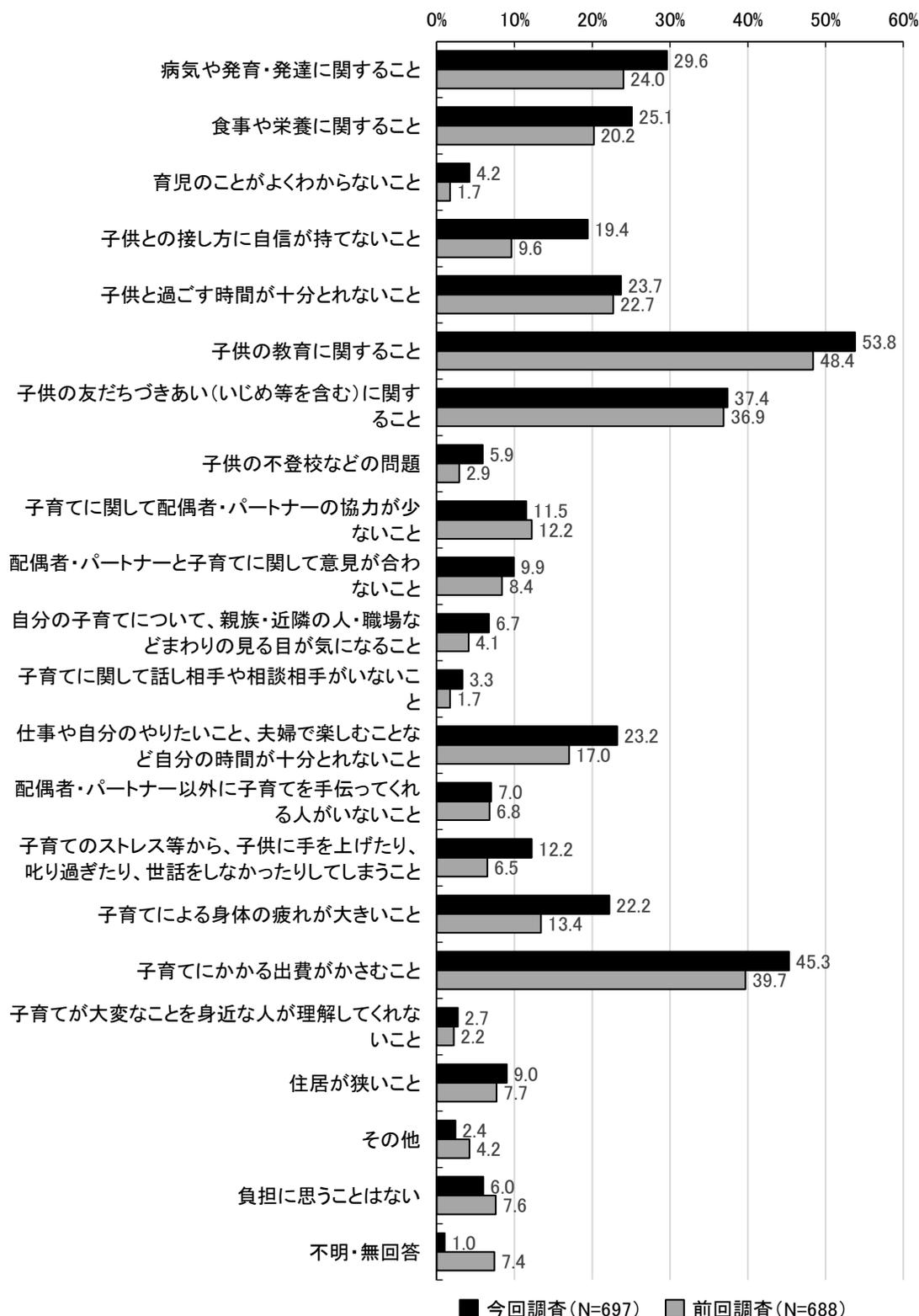
就学前保護者、小学生保護者ともに、不安や負担を感じる割合が高くなっています。

また、小学生保護者が抱える子育てに関して、日頃悩んでいること、気になることの調査結果から、割合は高くないものの、「子供の不登校などの問題」「子育てのストレス等から、子供に手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと」「子育てによる身体の疲れが大きいこと」について、前回調査よりも高まっていることも注意が必要です。

小学生 問20 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることはどのようなことですか。(選択はいくつでも)

小学生保護者の子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることについてみると、「子供の教育に関すること」が53.8%と最も高く、次いで「子育てにかかる出費がかさむこと」が45.3%、「子供の友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること」が37.4%となっています。

前回調査と比較して、「子供との接し方に自信が持てないこと」では9.8ポイント、「子育てによる身体の疲れが大きいこと」で8.8ポイント高くなっています。

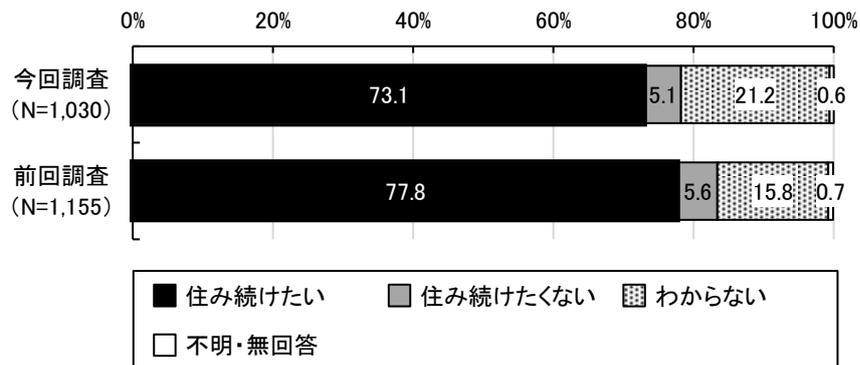


8 施策全般について

就学前 問 35 あなたは、今後も和歌山市に住み続けたいと思いますか。(選択は1つ)

和歌山市への定住意向についてみると、就学前保護者では「住み続けたい」が73.1%と最も高く、次いで「わからない」が21.2%、「住み続けたくない」が5.1%となっています。

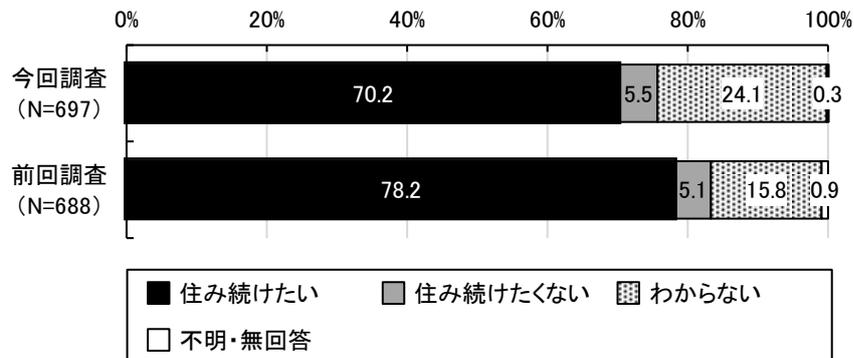
前回調査と比較して、「わからない」では5.4ポイント高く、一方で「住み続けたい」では4.7ポイント低くなっています。



小学生 問 29 あなたは、今後も和歌山市に住み続けたいと思いますか。(選択は1つ)

和歌山市への定住意向についてみると、小学生保護者では「住み続けたい」が70.2%と最も高く、次いで「わからない」が24.1%、「住み続けたくない」が5.5%となっています。

前回調査と比較して、「わからない」では8.3ポイント高く、一方で「住み続けたい」では8.0ポイント低くなっています。

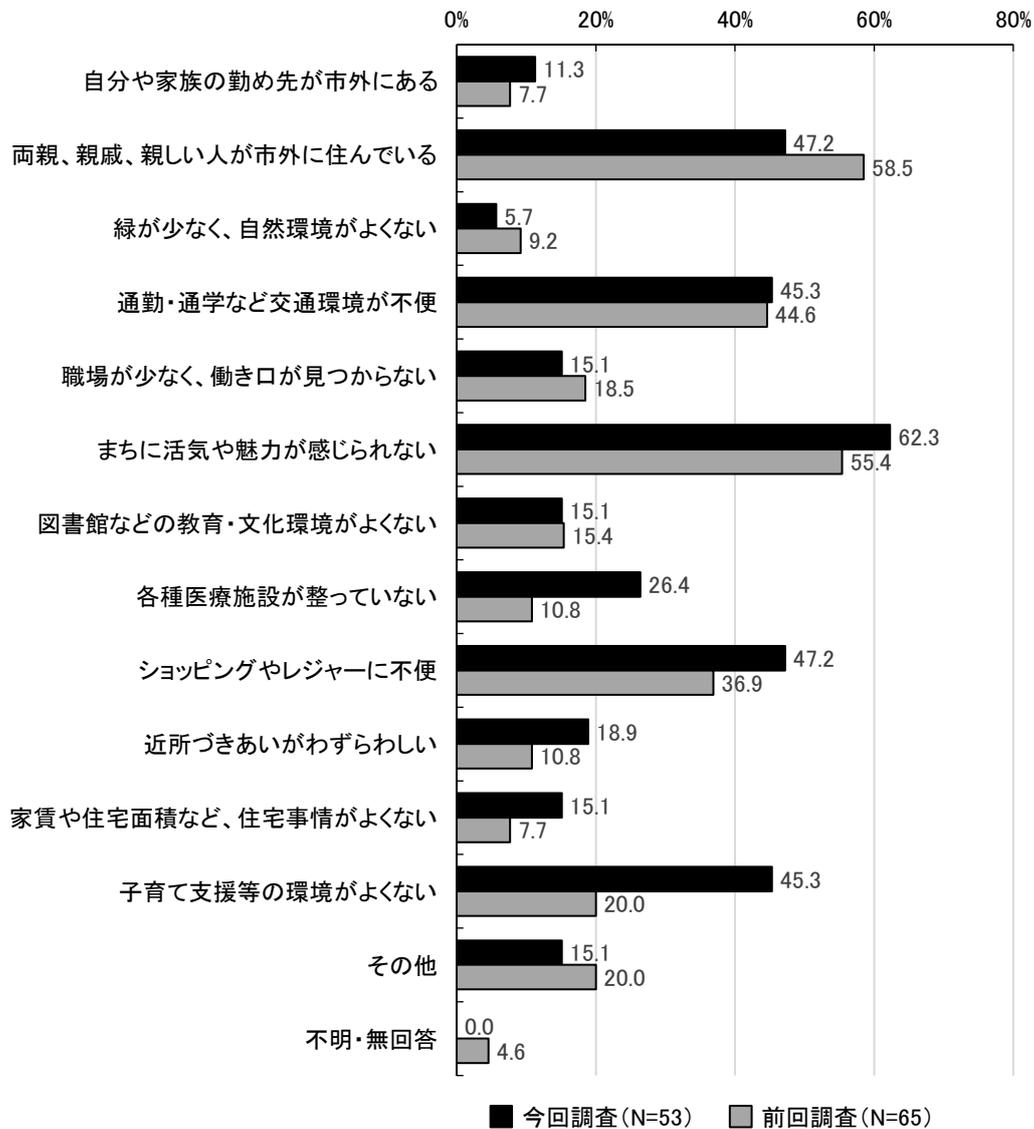


就学前保護者、小学生保護者ともに、定住意向についての割合は前回調査と比較して低くなっており、「わからない」の割合が高くなっています。「住み続けたくない」の割合については、前回調査と同水準となっています。

就学前 問 35-2 住み続けたくないと感じる理由は何ですか。(選択はいくつでも)

就学前保護者の住み続けたくないと感じる理由についてみると、「まちに活気や魅力を感じられない」が 62.3%と最も高く、次いで「両親、親戚、親しい人が市外に住んでいる」「ショッピングやレジャーに不便」がともに 47.2%となっています。

前回調査と比較して、「子育て支援等の環境がよくない」では 25.3 ポイント高く、一方で「両親、親戚、親しい人が市外に住んでいる」では 11.3 ポイント低くなっています。



就学前 問 35-2 × 問 31 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になること

就学前保護者の子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることについて、「子育て支援等の環境がよくない」と回答した人では[1. 病気や発育・発達に関すること][2. 食事や栄養に関すること][5. 子供と過ごす時間が十分とれないこと][6. 子供の教育に関すること][9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと][11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること][14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと][15. 子育てのストレス等から、子供に手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと][16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと][17. 子育てにかかる出費がかさむこと][18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと][19. 住居が狭いこと]が、「子育て支援等の環境がよくない」とは回答しなかった人よりも 10 ポイント以上高くなっています。

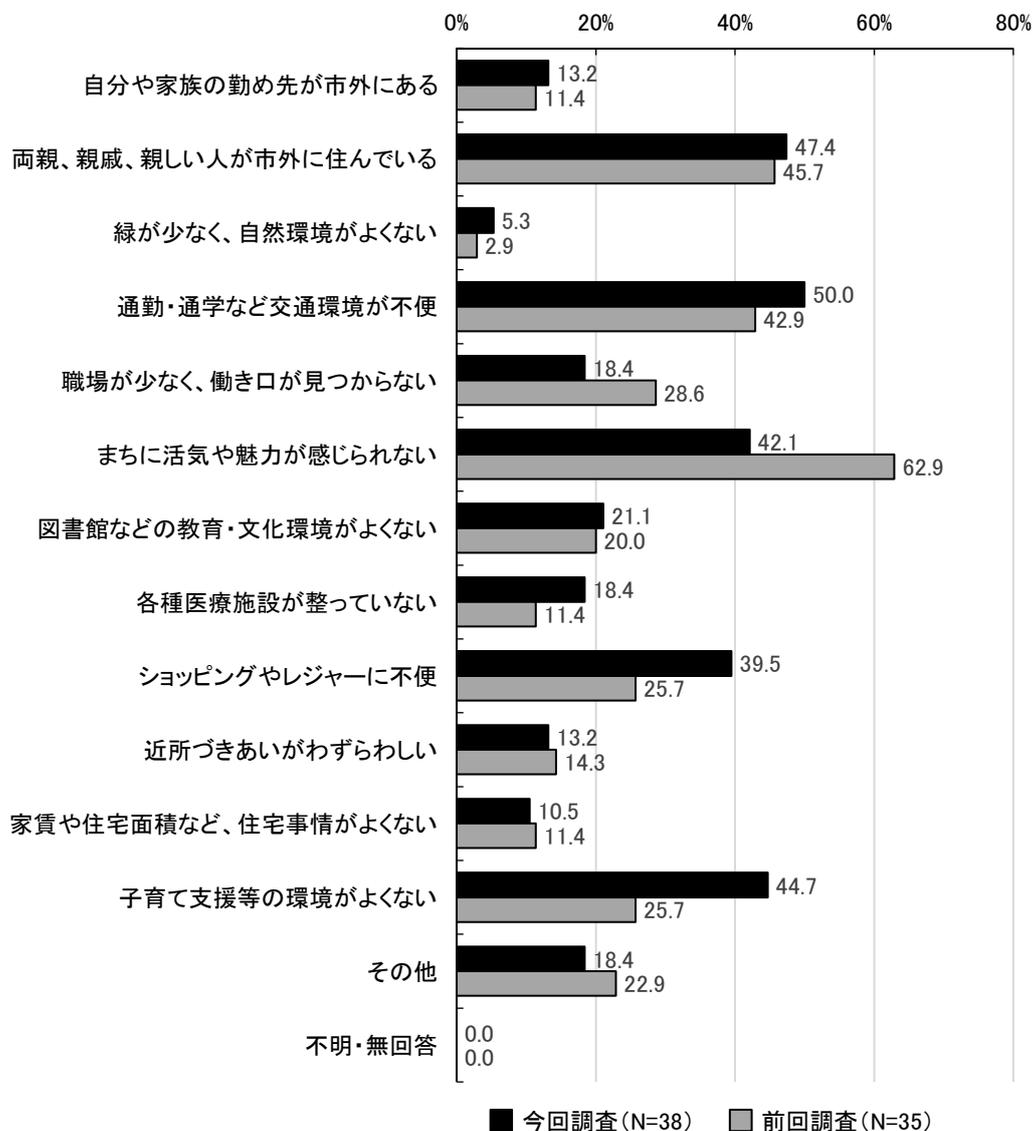
(%)

問31 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になること	①「子育て支援等の環境がよくない」と回答した人			②「子育て支援等の環境がよくない」と回答しなかった人			①-②	
	はい	いいえ	不明・無回答	はい	いいえ	不明・無回答	「はい」の差分	「いいえ」の差分
1. 病気や発育・発達に関すること	54.2	45.8	0.0	41.4	58.6	0.0	12.8	-12.8
2. 食事や栄養に関すること	54.2	45.8	0.0	37.9	62.1	0.0	16.2	-16.2
3. 育児のことがよくわからないこと	12.5	87.5	0.0	13.8	86.2	0.0	-1.3	1.3
4. 子供との接し方に自信が持てないこと	25.0	75.0	0.0	17.2	82.8	0.0	7.8	-7.8
5. 子供と過ごす時間が十分とれないこと	41.7	58.3	0.0	20.7	79.3	0.0	21.0	-21.0
6. 子供の教育に関すること	54.2	45.8	0.0	34.5	65.5	0.0	19.7	-19.7
7. 子供の友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	25.0	75.0	0.0	20.7	79.3	0.0	4.3	-4.3
8. 子供の登所・登園拒否などの問題	12.5	87.5	0.0	6.9	93.1	0.0	5.6	-5.6
9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	20.8	79.2	0.0	10.3	89.7	0.0	10.5	-10.5
10. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	12.5	87.5	0.0	10.3	89.7	0.0	2.2	-2.2
11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	20.8	79.2	0.0	3.4	96.6	0.0	17.4	-17.4
12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	16.7	83.3	0.0	10.3	89.7	0.0	6.3	-6.3
13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと	33.3	66.7	0.0	27.6	72.4	0.0	5.7	-5.7
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	25.0	75.0	0.0	13.8	86.2	0.0	11.2	-11.2
15. 子育てのストレス等から、子供に手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	37.5	62.5	0.0	17.2	82.8	0.0	20.3	-20.3
16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと	58.3	41.7	0.0	34.5	65.5	0.0	23.9	-23.9
17. 子育てにかかる出費がかさむこと	62.5	37.5	0.0	41.4	58.6	0.0	21.1	-21.1
18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと	16.7	83.3	0.0	3.4	96.6	0.0	13.2	-13.2
19. 住居が狭いこと	25.0	75.0	0.0	10.3	89.7	0.0	14.7	-14.7
20. その他	8.3	91.7	0.0	0.0	100.0	0.0	8.3	-8.3
21. 負担に思うことはない	0.0	100.0	0.0	6.9	93.1	0.0	-6.9	6.9

小学生 問 29-2 住み続けたくないと感じる理由は何ですか。(選択はいくつでも)

小学生保護者の住み続けたくないと感じる理由についてみると、「通勤・通学など交通環境が不便」が50.0%と最も高く、次いで「両親、親戚、親しい人が市外に住んでいる」が47.4%、「子育て支援等の環境がよくない」が44.7%となっています。

前回調査と比較して、「子育て支援等の環境がよくない」では19.0ポイント高く、一方で「まちに活気や魅力を感じられない」では20.8ポイント低くなっています。



小学生 問 29-2 × 問 20 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になること

小学生保護者の子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になることについて、「子育て支援等の環境がよくない」と回答した人では[1. 病気や発育・発達に関すること][2. 食事や栄養に関すること][7. 子供の友だちづきあい（いじめ等を含む）に関すること]が、「子育て支援等の環境がよくない」とは回答しなかった人よりも 10 ポイント以上高くなっています。

(%)

問20 子育てに関して、日頃悩んでいること、または、気になること	①「子育て支援等の環境がよくない」と回答した人			②「子育て支援等の環境がよくない」と回答しなかった人			①-②	
	はい	いいえ	不明・無回答	はい	いいえ	不明・無回答	「はい」の差分	「いいえ」の差分
1. 病気や発育・発達に関すること	52.9	35.3	11.8	33.3	66.7	0.0	19.6	-31.4
2. 食事や栄養に関すること	35.3	52.9	11.8	14.3	85.7	0.0	21.0	-32.8
3. 育児のことがよくわからないこと	11.8	76.5	11.8	9.5	90.5	0.0	2.2	-14.0
4. 子供との接し方に自信が持てないこと	17.6	70.6	11.8	19.0	81.0	0.0	-1.4	-10.4
5. 子供と過ごす時間が十分とれないこと	23.5	64.7	11.8	19.0	81.0	0.0	4.5	-16.2
6. 子供の教育に関すること	41.2	47.1	11.8	66.7	33.3	0.0	-25.5	13.7
7. 子供の友だちづきあい(いじめ等を含む)に関すること	41.2	47.1	11.8	28.6	71.4	0.0	12.6	-24.4
8. 子供の不登校などの問題	0.0	88.2	11.8	9.5	90.5	0.0	-9.5	-2.2
9. 子育てに関して配偶者・パートナーの協力が少ないこと	11.8	76.5	11.8	4.8	95.2	0.0	7.0	-18.8
10. 配偶者・パートナーと子育てに関して意見が合わないこと	11.8	76.5	11.8	4.8	95.2	0.0	7.0	-18.8
11. 自分の子育てについて、親族・近隣の人・職場などまわりの見目が気になること	5.9	82.4	11.8	9.5	90.5	0.0	-3.6	-8.1
12. 子育てに関して話し相手や相談相手がいないこと	11.8	76.5	11.8	9.5	90.5	0.0	2.2	-14.0
13. 仕事や自分のやりたいこと、夫婦で楽しむことなど自分の時間が十分とれないこと	29.4	58.8	11.8	28.6	71.4	0.0	0.8	-12.6
14. 配偶者・パートナー以外に子育てを手伝ってくれる人がいないこと	11.8	76.5	11.8	14.3	85.7	0.0	-2.5	-9.2
15. 子育てのストレス等から、子供に手を上げたり、叱り過ぎたり、世話をしなかつたりしてしまうこと	0.0	88.2	11.8	23.8	76.2	0.0	-23.8	12.0
16. 子育てによる身体の疲れが大きいこと	35.3	52.9	11.8	33.3	66.7	0.0	2.0	-13.7
17. 子育てにかかる出費がかさむこと	47.1	41.2	11.8	42.9	57.1	0.0	4.2	-16.0
18. 子育てが大変なことを身近な人が理解してくれないこと	0.0	88.2	11.8	0.0	100.0	0.0	0.0	-11.8
19. 住居が狭いこと	17.6	70.6	11.8	19.0	81.0	0.0	-1.4	-10.4
20. その他	5.9	82.4	11.8	4.8	95.2	0.0	1.1	-12.9
21. 負担に思うことはない	5.9	82.4	11.8	0.0	100.0	0.0	5.9	-17.6

就学前保護者では、住み続けたくないと感じる理由として、「まさに活気や魅力が感じられない」が前回調査と同様最も高くなっています。「子育て支援等の環境がよくない」については前回調査よりも 25 ポイント以上高くなっており、前回調査の倍以上の割合となっています。

小学生保護者では、「子育て支援等の環境がよくない」については前回調査と比較して 19 ポイント高くなっており、就学前保護者と同様に前回調査結果よりも非常に高い水準となっています。

「子育て支援等の環境がよくない」と回答した方のうち、[1. 病気や発育・発達に関すること][6. 子供の教育に関すること][17. 子育てにかかる出費がかさむこと]については就学前保護者、小学生保護者共通で悩みや気になることとして高い割合となっています。

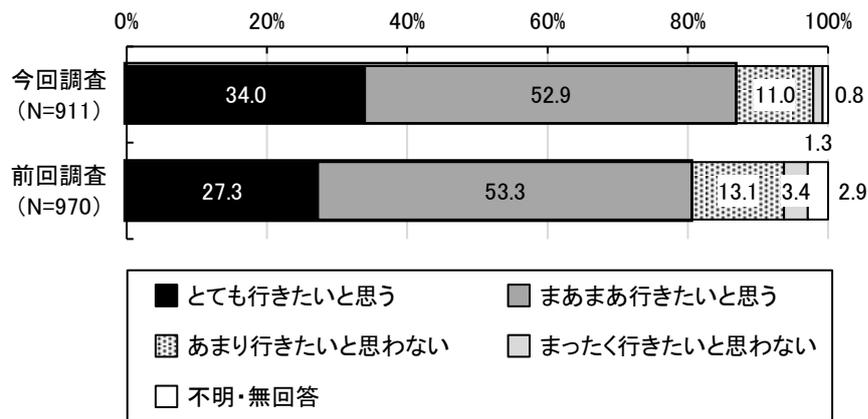
Ⅲ 小学生・中学生・高校生対象アンケート調査結果

Ⅰ 学校生活について

問6 学校へは行きたいと思っていますか。(○は1つ)

学校に行きたいかについてみると、「まあまあ行きたいと思う」が52.9%と最も高く、次いで「とても行きたいと思う」が34.0%、「あまり行きたいと思わない」が11.0%となっています。

小学生、中学生、高校生いずれも「まあまあ行きたいと思う」が最も高く、それぞれ49.9%、50.4%、61.4%となっています。



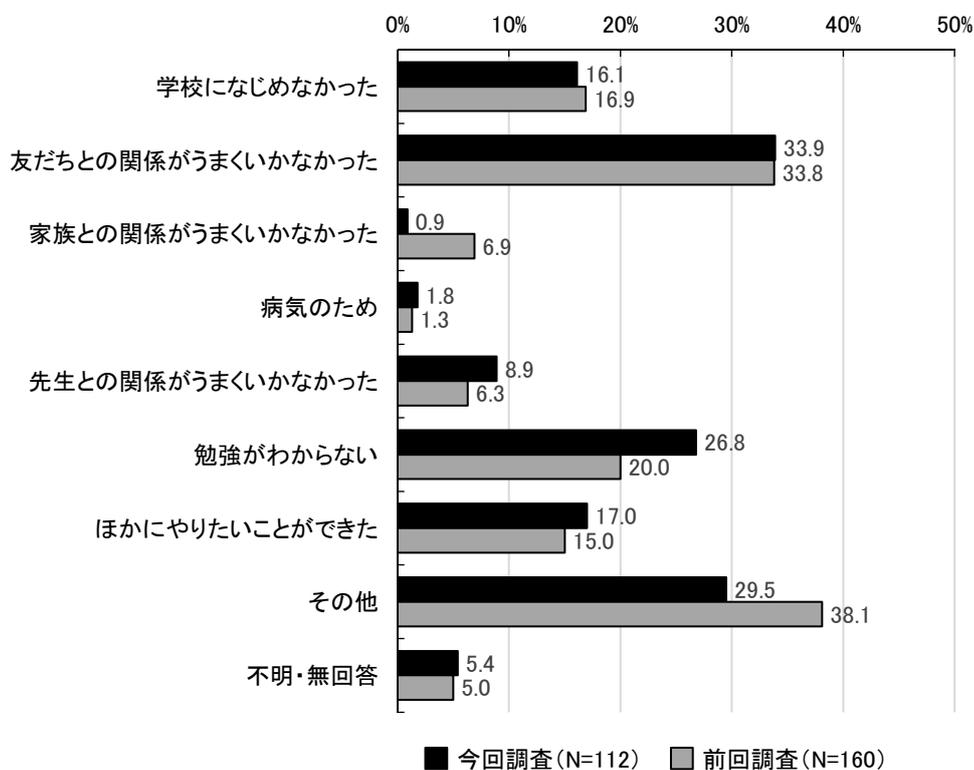
学校に『行きたいと思う』（「とても行きたいと思う」「まあまあ行きたいと思う」）の合計は86.9%と、前回調査と比較して6.3ポイント高くなっています。一方、学校に行きたくない理由として、「友だちとの関係がうまくいかなかった」が前回調査同様に高い割合となっていますが、「勉強がわからない」の割合が前回調査と比較して高い割合となっています。

問6で「あまり行きたいと思わない」「まったく行きたいと思わない」のいずれかを選択された方

問6-2 あなたが学校に行きたくないと思うようになったきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

学校に行きたくないと思うようになったきっかけについてみると、「友だちとの関係がうまくいかなかった」が33.9%と最も高く、次いで「勉強がわからない」が26.8%となっています。

小学生、中学生、高校生いずれも「友だちとの関係がうまくいかなかった」が最も高く、それぞれ34.2%、32.6%、35.7%となっています。



(%)

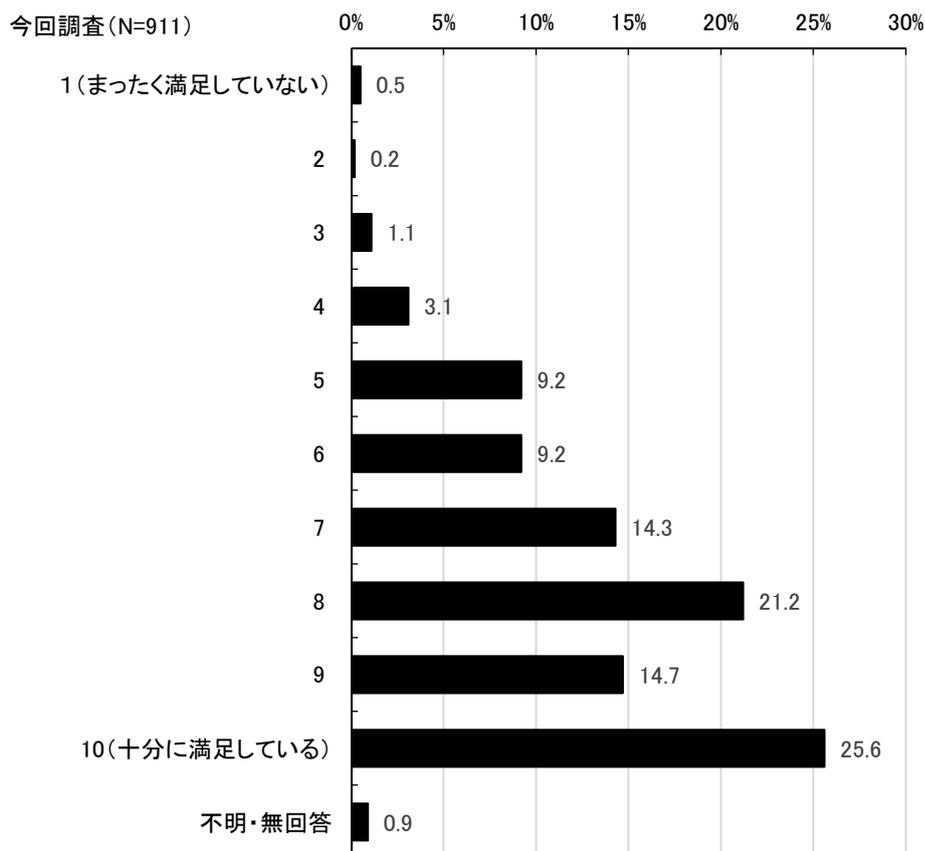
	学校になじめなかった	友だちとの関係がうまくいかなかった	家族との関係がうまくいかなかった	病気のため	先生との関係がうまくいかなかった	勉強がわからない	ほかにやりたいことができた	その他	不明・無回答
小学生 (N=38)	15.8	34.2	0.0	2.6	10.5	28.9	15.8	26.3	2.6
中学生 (N=46)	10.9	32.6	0.0	0.0	8.7	26.1	15.2	34.8	8.7
高校生 (N=28)	25.0	35.7	3.6	3.6	7.1	25.0	21.4	25.0	3.6

2 日常生活の様子やふだん思っていることについて

問 13 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「1」（まったく満足していない）から「10」（十分に満足している）の数字で教えてください。（○は1つ）

最近の生活の満足度についてみると、「10（十分に満足している）」が25.6%と最も高く、次いで「8」が21.2%、「9」が14.7%となっています。

小学生では「10（十分に満足している）」が30.3%、中学生では「8」が24.5%、高校生では「10（十分に満足している）」が23.3%となっています。



	← 不満 → 満足 (%)										不明・無回答
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	
小学生(N=353)	0.6	0.3	1.4	2.3	7.4	10.8	12.5	18.1	16.1	30.3	0.3
中学生(N=335)	0.3	0.3	0.9	3.0	10.4	9.0	14.9	24.5	13.7	22.1	0.9
高校生(N=223)	0.9	0.0	0.9	4.5	10.3	7.2	16.1	21.1	13.9	23.3	1.8

	全体	小学生	中学生	高校生
有効回答	903	352	332	219
合計	7,065	2,812	2,567	1,686
平均値	7.82	7.99	7.73	7.70

問13 × 問7-1 (家族と)主にどんなことを話しますか。[本編 P166]

家族と主にどのようなことを話すかについて、生活の満足度が平均値以上の人では[1. 学校のこと][2. 友だちのこと][4. 最近の出来事][5. 自分が興味を持っていること]が平均値以下の人よりも10ポイント以上高くなっています。

(%)

問7-1 主にどんなことを話しますか。	問13 生活の満足度		
	平均値以上	平均値以下	差分
1. 学校のこと	77.7	55.4	22.3
2. 友だちのこと	66.6	51.0	15.6
3. 将来のこと	26.6	23.0	3.6
4. 最近の出来事	83.0	70.3	12.8
5. 自分が興味を持っていること	43.9	33.5	10.4
6. その他	5.0	6.7	-1.7
不明・無回答	0.0	0.0	0.0

問13 × 問8-1 (現在抱えている悩みは)どのような悩みですか。[本編 P168]

現在抱えている悩みについて、生活の満足度が平均値以上の人では[1. 勉強や成績のこと][3. 将来やこれからのこと][5. 友だちのこと][11. 自分の性格やくせのこと]が平均値以下の人よりも10ポイント以上低くなっています。

(%)

問8-1 どのような悩みですか。	問13 生活の満足度		
	平均値以上	平均値以下	差分
1. 勉強や成績のこと	18.2	31.2	-13.0
2. 遊びのこと	2.1	2.6	-0.5
3. 将来やこれからのこと	14.3	25.1	-10.8
4. 家族のこと	1.8	2.6	-0.8
5. 友だちのこと	4.1	16.0	-11.9
6. 異性のこと	0.9	2.6	-1.7
7. 学校のこと	1.8	9.9	-8.1
8. 塾や習い事のこと	5.2	9.0	-3.9
9. お金のこと	4.6	7.6	-2.9
10. 性のこと	0.7	1.7	-1.0
11. 自分の性格やくせのこと	5.7	18.4	-12.7
12. 自分の顔や見た目のこと	5.5	13.4	-7.9
13. 体や健康のこと	3.4	5.8	-2.4
14. いじめのこと	0.5	1.5	-0.9
15. その他	0.9	2.0	-1.1
不明・無回答	67.3	44.0	23.3

問13 × 問9 自分の悩んでいることを相談できる人はだれですか。[本編 P170]

悩みを相談できる人について、生活の満足度が平均値以上の人では[1. お父さん][2. お母さん][3. 兄弟・姉妹][4. その他の家族や親せき][5. 学校の先生][6. 友だちや先輩]が平均値以下の人よりも10ポイント以上高くなっています。

(%)

問9 自分の悩んでいることを相談できる人はだれですか。	問13 生活の満足度		
	平均値以上	平均値以下	差分
1. お父さん	48.8	25.4	23.4
2. お母さん	79.8	62.1	17.7
3. 兄弟・姉妹	35.5	18.7	16.9
4. その他の家族や親せき	21.3	7.3	14.0
5. 学校の先生	37.1	17.2	19.9
6. 友だちや先輩	63.9	49.0	14.9
7. 電話等で悩みを聞いてくれるところ	3.4	1.5	1.9
8. 相談できる人はいない	2.1	9.3	-7.2
9. その他	1.3	2.3	-1.1
不明・無回答	0.0	0.0	0.0

生活の満足度が高い人は、家族と色々な話題で会話をしていることがわかります。

また、相談できる相手も生活の満足度が低い人と比べて[1. お父さん][2. お母さん][3. 兄弟・姉妹][4. その他の家族や親せき][5. 学校の先生][6. 友だちや先輩]など、多様な関係性の人と相談ができる関係が築けていることがわかります。

一方、生活の満足度が低い人が抱えている悩みについては、[1. 勉強や成績のこと][3. 将来やこれからのこと][5. 友だちのこと]、[11. 自分の性格やくせのこと]が比較的高い割合となっています。

3 全般について

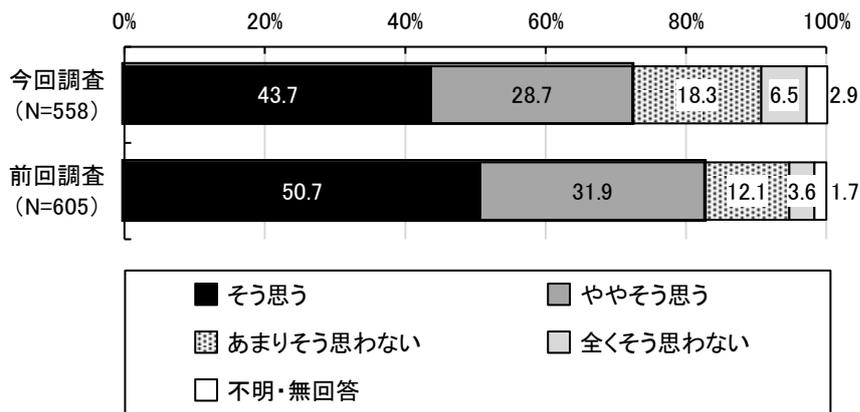
中学生・高校生のみ回答

問 25 将来の家庭に対する考えとして、あなたの考えに最も当てはまるものは次のうちどれですか。(それぞれ○は1つ)

①いつかは結婚して家庭を持ちたい

結婚して家庭を持ちたいと思うかについてみると、「そう思う」が43.7%と最も高く、次いで「ややそう思う」が28.7%、「あまりそう思わない」が18.3%となっています。

中学生、高校生のいずれも「そう思う」が最も高く、それぞれ40.0%、49.3%となっています。



	そう思う	ややそう思う	あまりそう思わない	全くそう思わない	不明・無回答
中学生 (N=335)	40.0	33.7	19.4	5.1	1.8
高校生 (N=223)	49.3	21.1	16.6	8.5	4.5

問 25① × 問 7-1 (家族と) 主にどんなことを話しますか。

家族と主にどのようなことを話すかについて、いつかは結婚して家庭を持ちたいと『思う』(「そう思う」「ややそう思う」の合計)と回答した人では[1. 学校のこと]、[2. 友だちのこと]、[3. 将来のこと]が、『思わない』(「あまりそう思わない」「全くそう思わない」の合計)と回答した人よりも10ポイント以上高くなっています。

問 7-1 主にどんなことを話しますか。	①いつかは結婚して家庭を持ちたい		
	『思う』と回答した人	『思わない』と回答した人	差分
1. 学校のこと	69.8	58.7	11.1
2. 友だちのこと	65.6	45.7	19.9
3. 将来のこと	32.4	20.3	12.1
4. 最近の出来事	80.2	73.2	7.0
5. 自分が興味を持っていること	36.9	38.4	-1.5
6. その他	3.2	6.5	-3.3
不明・無回答	0.0	0.0	0.0

問 25① × 問 10 あなたには、放課後や休日を過ごすとき、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。

放課後や休日の居場所について、いつかは結婚して家庭を持ちたいと『思う』と回答した人では[4. 友だちの家]が、『思わない』と回答した人よりも 10.0 ポイント高くなっています。

一方、[13. インターネットを通じたゲームや交流の場]では『思う』と回答した人は、『思わない』と回答した人よりも 10.9 ポイント低くなっています。

問10 あなたには、放課後や休日を過ごすとき、落ち着いて居心地よくいられる場所がありますか。	①いつかは結婚して家庭を持ちたい (%)		
	『思う』と回答した人	『思わない』と回答した人	差分
1. 自宅の自分の部屋	89.4	89.1	0.2
2. 自宅の自分の部屋以外	41.8	34.1	7.8
3. 祖父母や親せきの家	22.5	15.9	6.6
4. 友だちの家	25.2	15.2	10.0
5. 学校の教室	7.4	5.8	1.6
6. 学校の教室以外の場所(保健室・図書室など)	1.7	4.3	-2.6
7. 学童保育	0.2	0.0	0.2
8. 塾や習い事	6.9	4.3	2.6
9. 学校の部活動	20.0	12.3	7.7
10. 地域のスポーツクラブやスポーツ少年団	3.2	2.9	0.3
11. 公園などの屋外	10.4	9.4	1.0
12. ショッピングセンターやファーストフードなどのお店	15.8	10.1	5.7
13. インターネットを通じたゲームや交流の場	9.4	20.3	-10.9
14. そういう場所は特にない	0.7	0.7	0.0
15. その他	0.5	0.7	-0.2
不明・無回答	0.2	0.0	0.2

問 25① × 問 16 将来に対して、特にどのようなことに不安を感じますか。

将来に対する不安について、いつかは結婚して家庭を持ちたいと『思う』と回答した人では、[3. お金のこと]が、『思わない』と回答した人よりも 10.5 ポイント低くなっています。

問16 将来に対して、特にどのようなことに不安を感じますか。	①いつかは結婚して家庭を持ちたい (%)		
	『思う』と回答した人	『思わない』と回答した人	差分
1. 進路・進学のこと	70.0	63.0	7.0
2. 就職・仕事のこと	61.4	61.6	-0.2
3. お金のこと	36.6	47.1	-10.5
4. 親のこと	6.2	5.1	1.1
5. 自分の健康のこと	12.4	11.6	0.8
6. 結婚のこと	10.6	1.4	9.2
7. 生きがいについて	11.1	13.8	-2.6
8. 友だちなど人間関係のこと	20.0	22.5	-2.4
9. 世の中のできごとについて	9.4	11.6	-2.2
10. 孤立やひきこもりのこと	5.7	6.5	-0.8
11. よくわからない不安	12.9	18.1	-5.2
12. 特に不安はない	8.7	9.4	-0.8
13. その他	0.5	0.0	0.5
不明・無回答	0.0	0.0	0.0

いつかは結婚して家庭を持ちたいと思う人の割合は、前回調査と比較して低くなっており、少子化対策が必要とされる中、課題が浮き彫りとなりました。

いつかは結婚して家庭を持ちたいと思う人と、思わない人について分析すると、家族を持ちたいと思う人は、家族との会話において[1. 学校のこと][2. 友だちのこと][3. 将来のこと]など、多様な会話をしている傾向がみられます。

また、放課後や休日を過ごすとき、落ち着く場所としては、家族を持ちたいと思わない人では、[13. インターネットを通じたゲームや交流の場]の割合が高くなっており、インターネット環境が身近な世代にとって、注目すべきポイントです。

将来に対する不安について、家族を持ちたいと思わない人では、[3. お金のこと]の割合が高くなっており、経済的な不安が家族を持つことについて影響を与えていると考えられます。

IV 調査結果の総括とまとめ

I 総括

就学前児童・小学生児童の保護者対象調査	小学生・中学生・高校生対象調査
<p>1 共働き家庭の増加と育児休業の取得率の向上 調査結果から、共働き家庭の増加と両親の育児休業取得率の上昇が確認されました。</p>	<p>1 学校生活と友人関係 学校に「行きたいと思う」子供の割合が増加していますが、「友だちとの関係がうまくいかなかった」や「勉強がわからない」などの理由で学校に行きたくない子供も依然として存在します。 文部科学省の「子供の生活・学びに関する調査」によると、友人関係や学業の悩みが子供の学校生活に大きな影響を与えています。これに対して、学校内でのカウンセリングや学習支援の強化が求められます。</p>
<p>2 地域子育て支援拠点の利用 地域子育て支援拠点の利用率が上昇し、利用意向も高まっています。 地域子育て支援拠点は、親同士の交流や情報交換の場として機能しており、孤立しがちな子育て中の親にとって重要な支援リソースとなっています。</p>	<p>2 家族とのコミュニケーション 生活の満足度が高い子供は、家族との多様な会話ができていくことがわかります。 一方、生活の満足度が低い子供は、勉強や将来のこと、友人関係など多くの悩みを抱えています。家族とのコミュニケーションが生活の満足度に与える影響は大きく、家庭内での対話を促進するための施策が必要です。</p>
<p>3 経済的負担軽減と制度についての周知徹底 就学前児童の一時預かりサービス利用に関して、経済的理由や制度の理解不足によって、利用していないケースがみられます。 行政や施設側が利用者目線に立った情報提供やサポートを強化する必要があります。</p>	<p>3 将来に対する意識 「いつかは結婚して家庭を持ちたい」と思う子供の割合が減少しています。これは、経済的不安や将来に対する不確実性が影響していると考えられます。 内閣府の「令和2年少子化社会対策白書」によると、若者の将来に対する不安が結婚や子育てへの消極的な態度に繋がっています。経済的支援や将来に対する安心感を提供する施策が必要です。</p>
<p>4 精神的な不安とサポートの必要性 妊娠中や産後の精神的不安が増加しており、具体的なサポートが求められています。 具体的には、「育児相談」「家事支援」「兄弟姉妹のケア」「母親の健康相談」等が重要であり、地域や行政による育児相談窓口の拡充や訪問型家事支援サービスの提供が効果的です。</p>	
<p>5 子育てに対する不安とストレス 小学生の保護者が抱える子育ての悩みとして、「子供の教育に関すること」が前回調査に引き続き高い割合となっています。 一方で、「不登校」や「子育てストレスによる虐待」等についても割合としては少ないものの、前回調査から割合が高くなっていることにも注意が必要です。</p>	
<p>6 定住意向の低下 就学前児童・小学生の保護者ともに、定住意向が低下しています。「まちに活気や魅力を感じられない」「子育て支援環境が良くない」と感じる理由が挙げられています。 特に「子育て支援環境が良くない」という回答が増えており、保育や教育環境の改善が必要です。</p>	

2 まとめ

①子育て支援の強化

地域子育て支援拠点の利用率と利用意向が高まっていること、親同士の交流や情報交換の場として重要な役割を果たしていることを踏まえ、交流機会の充実や拠点の機能強化を図ることが重要です。また、子育て中の親の孤立を防ぐため、地域子育て支援拠点を中心とした支援ネットワークを構築し、包括的な支援体制の充実が求められています。

②経済的負担の軽減

保育料や一時預かり等の費用負担を軽減し、制度の周知を徹底することが重要です。

経済的理由で一時預かり等を利用していないケースがあることから、利用料の軽減制度の周知徹底が求められます。

また、制度の理解不足により利用していないケースもみられるため、分かりやすい情報提供が必要です。行政や施設側が利用者の立場に立った情報提供やサポートを行う体制を整え、サービスへのアクセスのしやすさを向上させる必要があります。

③仕事と子育ての両立支援

核家族化や共働きの増加に伴い、家庭での仕事と子育ての両立を支援するため、行政・地域による協力が求められています。特に、子供が病気やケガをした際に利用できる事業の拡充や、就労の有無に関わらず必要な子育て支援情報を容易に入手できる環境の整備、ワーク・ライフ・バランスの推進が必要です。

④精神的サポートの提供

妊娠中や産後の精神的不安が増加しており、具体的なサポートが求められています。

育児相談、家事支援、兄弟姉妹のケア、母親の健康相談など、多面的な支援の充実が重要です。特に、地域や行政による支援体制の強化が必要とされています。

⑤子育てストレスの軽減

保護者のストレスを軽減するためのメンタルヘルス支援やカウンセリングの提供が必要です。子育てに関して「子供の教育に関すること」が主な悩みとなっていることから、教育に関する相談体制の強化が求められています。また、子供の不登校に悩む保護者や子育てストレスにより子供に虐待している保護者の割合が増加傾向にあることを踏まえ、早期発見・早期対応のための支援体制の整備が一層求められます。

⑥定住意向の向上

地域の魅力や子育て支援環境を改善し、定住意向を高める施策が求められています。「まちに活気や魅力が感じられない」「子育て支援環境が良くない」という意見が増加していることから、地域の魅力向上と子育て支援環境の改善が重要です。

特に、保育や教育環境の質的向上が定住意向の向上につながると考えられます。

⑦学校生活の支援

学校内でのカウンセリングや学習支援を強化し、子供が安心して学校生活を送れる環境を整えることが重要です。友人関係の問題や学習の困難さを理由に学校に行きたくない子供がいることから、これらの課題に対応した支援の強化が求められています。また、子供たちの悩みに早期に対応できる体制の整備が必要です。

⑧将来に対する安心感の提供

若者が将来に対する不安を抱かないよう、経済的支援や就労支援を実施し、就労・結婚・出産・子育てに対する気運の醸成を図ることが重要です。「いつかは結婚して家庭を持ちたい」と思う子供の割合が減少していることを踏まえ、家庭生活の価値や魅力を伝える取組が求められています。

和歌山市子ども・子育て支援事業に関するニーズ調査
結果報告書【概要版】

令和6年6月

和歌山市 福祉局 こども未来部 子育て支援課

〒640-8511 和歌山市七番丁 23 番地

TEL : 073-435-1329 FAX : 073-435-1341

メール : kosodate@city.wakayama.lg.jp